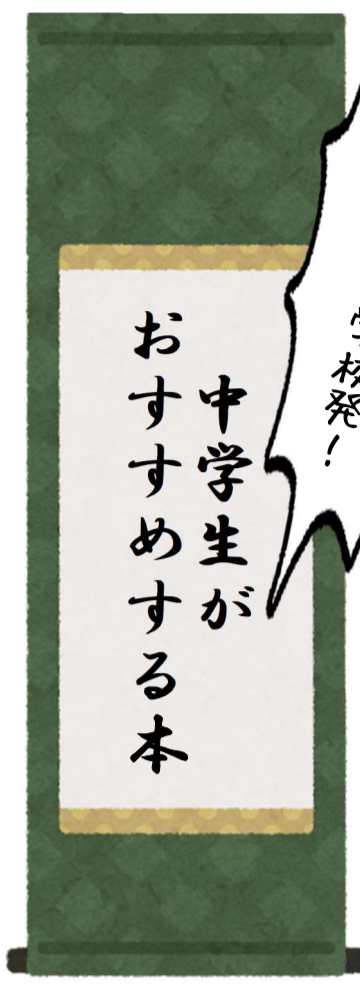


福生第一中学校発!

中学生が
おすすめする本



H.T.さんはこちらを
オススメ!

『空想科学読本 正義のパンチは 光の速さ!?!』

柳田 理科雄／著
KADOKAWA 角川文庫
(二〇一七年)



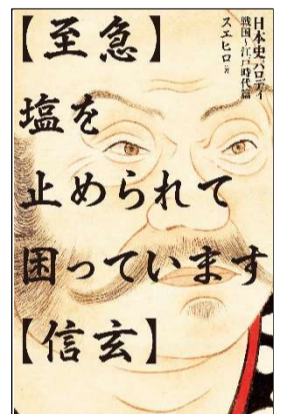
漫画やアニメに登場する、すごい技やアイテムは実現可能なだろうか?そして、無理やり実現したら、いったい何が起ころのだろうか?その疑問を科学的に考え、書き記された本です。「ドラえもん」のタケコプター、「黒子のバスケ」緑間のスリーポイントシュート、「テニスの王子様」菊丸の1人ダブルスなど、誰もが気になる32のテーマを科学的に検証しています。この本は500万部突破のベストセラー「空想科学読本」シリーズから傑作を厳選した本です。

おすすめのポイントの一つ目は特定の人にわかる漫画やアニメではなく、一度は聞いたことがあるような漫画やアニメを題材にしている点です。例えば、あらすじでも出てきた『ドラえもん』のタケコプター、その他にも、「キャプテン翼」や「ワンピース」など一度は聞いたことがある漫画やアニメが題材になっているので、多くの人が共感できます。

二つ目は、一つ一つの題材の内容の濃さです。この本はたくさんの題材が一冊に詰まっているショートストーリーで書かれています。この本の筆者は、それぞれの題材ごとに、科学的に考え、私たちには到底理解できないような計算をし、原稿にまとめるといいう手間のかかる作業をしています。しかし、理解できない計算をしているのに、結果を見ると面白いと思えます。なぜなら、多くの人にわかる題材にすることで、計算はわからなくても結果については共感できるからです。故に内容は濃くなっています。

O.Y.さんはこちらを
オススメ!

『【至急】塩を止められて 困っています(信玄)』



スエヒロ／著
飛鳥新社
(二〇一五年)

「戦国時代に東急ハンズがあったら」、「江戸城無血開城をFacebookで発表する」としたら、「新選組の求人広告」など、誰もが知っている歴史をもとにしたパロディがギュギュッと詰まった一冊です。現代では当たり前になった身の周りにはあるメールシステムやフェイスやライブの開催チケット、カスタマーレビューなどを上手い具合に歴史の出来事に刷り込んだパロディが作られています。

例えば「鳴かぬなら殺してしまえホトトギス」で有名な戦国武将織田信長、もしも彼がチャットアプリ「LINE」をしていたらトーク一覧はどうなっていたか。

LINE上でも光秀にひどい態度を取るのか、秀吉とはどのようなトークをしているのかと、文明の利器を歴史上の人物が手にしたらどうなるのか想像するのが面白い一冊です。

また、この本は見開きの左ページにパロディの主題とそれに合わせた作者のちょっとしたお話が、見開きの右ページにパロディのイラストが掲載されている。というレイアウトです。さらさら読んでしまいが魅力的な本です。

もう現代には存在しない人が、現代では身の周りにあるものを使うとどうなるのか、

もしもあの人がスマートフォンを持っていたら…もしもあの歴史上の大イベントがチャラシやハガキになって家のポストに挟まれてあつたら…

歴史上で「もしも」を追求した、愉快的パロディが詰まった一冊です。

S.K.さんはこちらを
オススメ!

『イノセント・デイズ』



早見 和真／著
新潮社 新潮文庫
(二〇一七年)

幸乃という一人の死刑囚の一生を描いたミステリー小説。死刑を言い渡した裁判長の言葉を引用した各章のタイトルは、嘘ではないが真実でもない。その印象と実像のズレが、心をざわつかせる。いつ、どこで、何によって、誰によって幸乃の人生は歪み始めたのか。生まれてきて申し訳ないと思いで思い至ったのは何故なのか。事件と真相もさることながら、彼女をそこまで追い詰めた人々の罪を考えずにはいられない。

無意識のうちに自分も誰かにとつての彼らになっているのではないかと、問わずにもいられなくなる。果たしてこの結末は救いなのか、罪なのか。

1つ目のおすすめしたいところは幸乃の心情がそこまで描かれていないところが逆に、よみてに考える余地をうんでいる所。

2つ目は幸乃の過去が巧妙に伏線になっている所。幸乃は家族や友人、住まいなどどれも恵まれておらず、そのことが伏線となり、進むにつれて回収される伏線が面白い。幸乃の謎を解きながらぜひ読んでみてください。

福生第一中学校のみなさん、
ありがとうございます!

